

◇ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津市立文化ホール			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	教育委員会事務局	生涯学習課	初年度	120,678,616円	21,246,610円	148,264,374円	計画通りの利用料金収入を確保し、計画的に予算執行を行った。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
施設HPアドレス	https://kusatsu-art.center/creahall https://kusatsu-art.center/amicahall		2年目	113,157,628円	24,861,330円	131,745,449円	支出を上回る収入を確保している。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
指定管理者名	(公財)草津市コミュニティ事業団		3年目	116,259,321円	19,436,690円	148,237,696円	光熱水費の高騰により、計画では赤字の見込みであったが、計画的に予算執行を行い、黒字となった。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日		4年目	115,958,281円	19,331,124円	155,334,940円	2館の一体的な運営と予算管理により、安定した経理状況を維持している。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		5年目	116,583,771円	15,057,710円	149,166,206円	事業の収入増と計画的な予算執行により、安定した運営を行った。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制
指定管理者による運営開始日	アミカホール：平成23年4月1日 クレアホール：平成27年1月1日
施設の供用開始日	アミカホール：平成4年5月6日 クレアホール：平成27年1月1日
指定管理導入前の運営形態	アミカホール：市直営 クレアホール：県営

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) 市民に愛され協働のまちづくりを推進する中間支援組織として、舞台芸術を通じたまちづくりと、安全、安心な文化ホールの運営を目指すとともに、市域における文化振興の拠点施設として、アートセンター機能を充実させ、担い手の育成に努める。		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) ▼成果指標(結果) ①公演型事業数:20事業、講座型事業数:3事業 ②アウトリーチ型事業数:8事業(14回)、インリーチ型事業数:5事業(5回) ③アートセンター相談件数:25件 ④情報発信:情報誌12回 ラジオ12回 例年と比較し多くのアウトリーチ事業を展開いただき、市のイベントや地域の祭り、こども園など様々な場面において、広く人々が文化芸術に触れる機会を創出していただいた。内容についても、草津ブースターズや地元の吹奏楽団など地域の人々と草津歌劇団とのコラボレーションにより、草津の魅力や令和7年度に実施される国スポ・障スポ、環境啓発等をテーマとしたパフォーマンスを実施し、市のPRと市民の地元への愛着心の醸成に大きく貢献されたほか、市民からの依頼を受けてアーティストのコーディネートを行うなど、アートセンターを活用し、市民の需要に合わせた芸術鑑賞の機会を提供された。 また、『草の津』合唱団では発表だけでなく団員を市民から募集し、発表に向けた練習も実施したほか、アートスクール事業の中で美術作品の創作を行い芸術祭にて展示する等、公演型事業に講座型事業を組み合わせ、芸術を鑑賞するだけでなく、創る・発表する機会の提供についても積極的に実施いただいた。	

事業目標および管理・運営に対する自己評価（事業年度終了後記入）	公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証
<p>事業団の強みである地域でのネットワーク力、コーディネート力と舞台芸術プロデュースを有する中間支援機能（草津アートセンター機能）により、草津市文化振興条例、同計画の推進に寄与した。今年度は、アマカホールは草津市の工事のため、令和6年8月から令和7年1月まで完全休館となったが、2館一括管理を活かし市民の皆さまに不自由なく、さらに草津市の文化芸術振興をリードする事業展開を図った。とりわけ、市制70周年に伴い、記念式典では1997年に草津市が委嘱初演した『草の津』をクレアスペシャル合唱団が披露した他、「風景の記憶絵」をはじめ70年を振り返る写真や物を展示した『ふるさと草津70年史展』を草津市と事業団が協働で開催した。また、草津市の記憶絵を題材にした草津歌劇団の創作ミュージカルは、「草津らしさ」「草津ならではの草津の魅力」を舞台芸術創造事業を通してプロデュースし、まちづくりを通じた文化芸術振興に寄与した。</p> <p>▼成果指標（結果）</p> <p>① 公演型事業数：20事業</p> <p>② アウトリーチ型事業回数：14回（インフロンニア草津、キラリエまつり、エフエム滋賀、大路区民まつり、おでかけマッチ5回、新浜会館3回、洪川学区ふれあいまつり、草月流いけばな展）</p> <p>インリーチ型事業回数：5回（こころの劇場12校、平和祈念、草津市市制70周年記念式典、玉川小学校2回）</p> <p>③ アートセンター相談件数：25件</p> <p>④ 情報発信：情報誌12回、ラジオ12回、HP、ダイジェスト版作成、公演DVD作成 文化ホールパンフレット改訂</p>	<p>（非公募について）</p> <p>（公財）草津市コミュニティ事業団は、市の指定する中間支援組織であり、これまで市だけでは実現が困難であった文化施策の展開について、市と協働しながら取り組まれてきた。また、草津の文化の担い手の育成、文化的資産の活用にも積極的に取り組み、文化を通じたまちづくりに貢献いただいている。</p> <p>（利用料金制について）</p> <p>今年度実施された指定管理者選定評価委員会において、利用者の利便性向上や利用促進につながるため、引き続き導入すべきであるとの意見を頂戴している。また、アマカホールについては半年間の休館期間があったものの、クレアホールではホール・諸室の利用件数が前年度から468件増加しており、利用料金制度を継続することで、指定管理者の更なる経営努力を促したい。</p>

◇施設に係る主な指定管理業務
<p>・文化ホールの運営および維持管理に関すること。</p> <p>・草津市立草津アマカホール、草津クレアホールの各条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。</p>

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

文化振興事業（管理業務仕様書P.3）					
指定管理者の自己評価			市（施設所管課）の評価		
評価項目1	上半期評価	草津アートセンターが草津市立プールの開会式・オープニングをプロデュース。文化ホールのもつ専門技術と演出効果や、玉川ウインドオーケストラ、草津歌劇団との共演で、式典を華々しく飾った。また、草津歌劇団は、多方面から依頼を受け、「イオンモールサーキュラーエコノミーイベント」や「平和祈念のつどい」、地域まちづくり協議会の祭りに出演するなど、草津市の魅力を紹介する歌劇団として活動を広げている。	上半期評価	クレア舞台芸術学校『草津歌劇団』では、草津市立プールの開会式をはじめ、キラリエまつりといった市制施行70周年を祝したイベントへの出演等、これまでの事業で培われた文化資源の活用により、都市の魅力の創出に大きく貢献された。	
	☆☆☆☆		☆☆☆☆		
	下半期評価	草津市芸術祭は、一般公募により、それぞれの専門性を活かした舞台仕様（反響板・袖幕・所作台・リノリウムマット）で場を提供。参加団体数は年々増加しており、市民と文化ホールがともに創る芸術祭として定着している。また、草津市芸術祭関連事業として、草津市美術協会と連携し、アート体験ワークショップを開催し、受講者の成果を芸術祭の展示部門に出展。地元出身アーティストと創るクリスマスコンサートや草津歌劇団創作ミュージカルなどアートセンタープロデュース公演は、好評を博している	下半期評価	草津歌劇団は創作ミュージカルとして草津市の記憶絵を題材とした公演のほか、ロビー・ホワイエでの地域団体と連携した展示を合わせて行う等、事業を通じた草津の魅力の再発信に努めていただいた。また、草津市芸術祭の中では草津美術協会との連携によるアートスクール事業において実施した、美術作品の創作講座の成果発表として展示を行い、市民の文化活動の推進と発表の機会の充実に取り組んでいただいた。	
	☆☆☆☆		☆☆☆☆		

利用者満足度に関すること（管理業務仕様書P.2）					
評価項目2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価		
	上半期評価	施設利用者へのアンケートは、貸館毎に行っており、受付対応、施設・備品・清潔さ、使用料・使用時間ともに、高い満足度を得ている。また、自主事業においては、市民とともに創る自主制作スタイルで事業展開を行っており、どの公演においても市民コーディネーターや、市民プロデューサーを起用、また育成しており、リピーターやファンを獲得し、アンケートからも高評価を得ている。	上半期評価	昨年度の指摘事項であるアンケートの回収について改善に取り組まれている。引き続きアンケートの回収に努めていただくとともに、更なる利用者の満足度につながるよう対策を検討していただきたい。 また、定期的なHPの更新により情報発信がなされている。今後はFacebookやXといったSNSの活用にも取り組んでいただきたい。	
	☆☆☆☆		☆☆☆		
	下半期評価	草津アートセンターが草津市市制70周年記念事業に協力し、普段なかなか機会のない全国レベルの公演をクレアホールで開催。また、夏休みを利用し、事業団40周年記念事業として、ホールがもつ技術を活かした、プロジェクションマッピングの手法を使った『わくわく紙アプリ体験』は舞台芸術の専門制を活かした事業展開例といえる。1,400人を超える入場数となり、好評を博した。	下半期評価	指定管理者の持つノウハウを活かし、適切な館の運営並びに舞台運営を行っていた。また施設利用者アンケートではアミカホールにおいて①受付対応、②施設・備品・清潔さ、③使用料・使用時間の3項目すべてが約9割程度の高い水準かつ前年度より上昇しており、改修工事により施設が綺麗で使いやすくなったという声も見受けられ、利用者の満足につながる施設運営ができていているといえる。クレアホールについても、②③は低下しているものの、①に関しては上昇しており9割以上の満足度を得られている。	
	☆☆☆☆		☆☆☆		

貸館に関する業務（管理業務仕様書P.4）					
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価		
	上半期評価	2館一括体制で管理を行うことにより、利用者がどちらのホールでも申請を行える他、初めての利用者を含め、催し物に応じたアドバイスを草津アートセンターが的確に行うことにより、利便性の向上に努めた。	上半期評価	管理業務仕様書に基づき適正に貸館業務を行っていた。上半期の利用件数は前年度と同程度であり、引き続き適正な業務の遂行に努めていただきたい。	
	☆☆☆☆		☆☆☆		
	下半期評価	アミカホールの休館に伴い、クレアホールを利用される団体には、丁寧な説明を行い、アミカホール開館後もご利用いただけるように努めた。また、アミカホールの工事終了後は、利用者が気持ちよく利用いただけるよう、美装等を行った。	下半期評価	アミカホールについては、改修工事に伴う休館期間があったことから利用者数が大幅に減少したものの、クレアホールでは利用者数が対前年比で微増となっている。ただし両館共に稼働率が減少しているため、今後の取り組みによる稼働率の増加を期待する。	
	☆☆☆☆		☆☆☆		

施設の維持管理（管理業務仕様書P.7）					
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価		
	上半期評価	仕様書に定める点検回数を順守し安全を確保するとともに、点検結果での指摘事項には迅速に対応した。利用者の安全安心を確保するため、日常点検を行うとともに、計画的に修繕を行った。	上半期評価	管理業務仕様書に基づき適正に施設の維持管理を行っていた。引き続き適正な施設管理に努めていただきたい。	
	☆☆☆☆		☆☆☆		
	下半期評価	修繕・備品の購入とともに、草津市と共有し、適切な時期に執行するように努めた。また、アミカホールの改修工事に伴う舞台機構等の改修についても、専門的なアドバイスを行い、草津市との共有を図った。	下半期評価	アミカホールの改修工事では、施設管理者としてアドバイスをいただく等協力していただいた。また計画的な修繕及び備品の購入により、適切な施設の維持管理を行っていた。	
	☆☆☆☆		☆☆☆		